

第55回触媒化学融合研究センター講演会

産総研触媒化学融合研究センターでは、様々な分野で活躍している大学、公的研究機関、企業等の方々をお招きして講演会を開催することで分野の垣根を越えた連携の実現を目指しています。多くの方々のご参加をお待ちしております。

キラル分子科学： 絶対配置は如何にして決定されたか？ “実験事実と理論”

<講師>

東北大学 多元物質科学研究所

原田 宣之 名誉教授



日時:2017年 11月 10日(金)15:30~17:15

場所:産総研第5事業所 第2本館

第4会議室(5-2 6603室)

<講演概要>

分子キラリティは、化学、生物学、あるいは分子機械工学において重要な概念である。例えば、分子モーターの回転方向の制御の基本となる。では、分子キラリティ、すなわち、絶対配置は如何にして決定されて来たのであろうか。

本講演では、絶対配置決定法の理論と実際、および歴史と論争などについて、演者の研究を中心に解説する。非経験的方法としてのX線結晶解析 Bijvoet 法、円二色性励起子キラリティ法、分子軌道法、および相対的方法としてのX線内部標準法、¹H NMR 反磁異方性法、さらに、キラル純度 100% の化合物の作成法についても述べる。

【問い合わせ先】 触媒化学融合研究センター 担当:白川 TEL:029-861-2763

E-mail:irc3-kouenkai-ml@aist.go.jp HP: <http://irc3.aist.go.jp/>